〔ナ第二七三號 昭和七年六月十八日 磐城新聞 第三千四百五十六號 (一)〕

夕刊
六月十七日發行
(日曜祭日翌日休刊)
定價一ヶ月金六拾五錢 郵税金五錢
電話 編輯局 通信機 金六拾錢 五號 金九拾錢 五號 一回 一行 一字 金五錢
福島縣石城郡平町大字平字六丁目 磐城新聞合資會社
代表者 木村 忠
印刷所 同町二十六番地 磐城新聞合資會社
發行所 同町二十六番地 磐城新聞合資會社
振替口座 仙臺 五八四番

途上漫筆 (其六)

小野生

社會事業の一として內務省令を以て實施せられた。公益質庫は、町村經營として本郡に於て先鞭をつけた昭和文化の仕事に當らしむのは小名濱町である、而して小名濱と、時代人をしてこれに次いで湯本町又開設した。

然るに小名濱町は開業匆々一年有餘にして、閉鎖するの已むなきに至りたるに對して、湯本町は然かも隆々として營業を繼續して居る、小名濱と湯本とは、濱と山との大なる相違があるだけに、其町民の觀點も或は非常に相違して居るかも知れぬが今其內容に就いて點檢をせば、意外な處に意外なる相違點の潛在しあるを發見する事が出來た

この馴扶は社會事業普及の趣旨によつて又當然これをなすの必要上一言を敢て玆に費す事にした。

小名濱町の公益質庫は其主腦者たるものは、嘗て普通質屋を營業せる經驗者にして其事務員たる番頭は其の當務者に就て些か遺憾無きを無い。貸出しに於て石橋を叩いて渡ると云ふ式で營業をして居る、乘より一錢一厘も損金を蒙らざるに勉め、入質者の何人であらうが、對物信用を基礎として假借せぬと云ふ筆法だ

これでは如何に窮しても質入れに御難であるから隨て門前雀羅の姿である、湯本はと云ふと、世相を能く見拔く點に長所を有する新進氣鋭の中年者である。

その鑑別に於て明敏なる點と社會事業の何たるを辨へてる廉に於て一見識を備へた、平たく言へば時代向同人諸君（この時は例の藏きに出來た氣風の人物であつた）を招いて文東照宮の橫を藤堂屋敷前へ出て鈴鹿町から左へ曲る與力町の角にあつた。

成程、傭人は少い、侍一人、仲間二人、飯炊女が一人、他に食客扶帶の門弟が一人、伯母さんと玄關を塞した優男——病的のにやけ暴人だらう、お嬢さまが思ひあまる位だから——と、大鹽の風采にお吉の氣象なき廻し下されませ』

お柳は此の時始めて顏を擡げた、恰ど格之助が此方へ御代官屋敷前より天滿橋向き直つてゐたのでよく人柄を見ることが出來た。

『今業平』と云ふ言葉は當のといふ名の風上にもおけぬ東照宮の橫を藤堂屋敷前へ出て鈴鹿町から左へ曲る與時のハイカラ男を評するに唯一つしかない意味のまづい形容詞であつた、併し是ひ染めるのも更々無理はない併し只外面の樣子を見た分達藥なお人だが、如何し

○鯉の屆するはその伸びんと欲するなり……（易經）

成功する以前には他人も辛酸を嘗むる習慣的努力が無ければならぬ之れ即ち聖人の德である、蓋し堅忍の德も近き將來に伸びんと欲すればこそ養成するのであ

せしむる力を有し、小名濱は町に多大の損害を與ふるつてゐる——に迄言ひ及んいでゐた、乘馬があるのかで後を徹底的に石城文藝界厩も目に着いた、母屋續きから葬りたかつたのである。

が選慨ながらこれ以上この紙面をふさぐことを遠慮し常に悅んだ樣子で侍に一切なければならないのでその世話をすべく命じた、侍の事に關しては他日改めて書は一同に紹介した後で奧の部屋へ連れて行つた。

其處には問題の人——格之助がゐる、侍は襖の所へ手を突いて

『若先生、この御婦人は三好屋から參られたお柳どのと申されます、今日よりして御家事向きの御手傳ひをなされますそうな、御目見

今日は双物以上者を讃美し奉つた語であるのが降らなくてかのやうに見える、其の時助かつた屋外勞代の女性のすべてが、こんなのを理想したとは思はれないが天明以來柔弱の空氣が底深く吹き徹つた幕末の婦人には、より多く持て囃はやされたスタイルであつたかも知れぬ。

格之助もやはり『今業平』に屬する型であつたけれども違ふ、型は同じでもそれに盛られた肉と血とが違ふ特等の製作品、原料がいゝ——とでも言ひたい、日の光線を包んだ、白薇醬の活々とした皮膚の色。強い意志の力と、明かな感情とを現はした眼の輝き、一直線に通つた鼻、ふつくりと艶を持つた頰、濃い髮のふさやかなところ、全體に凜々しい氣象が閃いて見える。

片寄君に答へる 下

島田春夫

灼熱の如き意志を以て全藝講演を試み或は全國詩日本を貫ぬく無數の○○○展、脚本朗讀會を開催する○○的藝術家達によつて闘など表面的運動を行つて黎爭的プロレタリア雜誌とし明以前の常磐地方文藝活動て認められてゐる海岸線の先鞭をつけた功績は恐らは地方の文學青年によまるく君達と雖も否むことは出べく人氣取りに女流歌人を來まい、こゝ一二年やゝ沈歡迎したり、それが廣告主默狀態にあるが近く新しくであつたり、後援者である同人を糾合して再び活潑なが故に餘り上手でもない歌運動に入る筈だ、詩南車が問題にすべき雜誌であるかさへも麗々しく載せなければならぬ日和見的文藝雜誌ないか、海岸線が君の云ふ

短唱

平町 登矩呂生

○光が光が辻藝人の帽子までが明るい初夏よ
○梅雨となつて濕の巢に子がかへつて鳴く、歩だ
○うめきと事務暗闇のカンテラすべてが現代美の力ある努力だ
○芽光の消えし野の泥の百姓の吐息をいくつかに感ず朝
○まぼろしを求めて知らぬまに來てた勞働者の工場に俺は…
○戰へば戰へばと叫んでた某中佐の青白い顏を想つてみる
○氣を付けろ！誰でもふりむいた俺に青白い勞働者の顏は…

では斷じてない、而も海岸如き道化役者の舞臺であることばかりしてゐる功罪かないか、讀者諸君、その暴人だらう、お嬢さまが思ひあまる位だから——と、大鹽の風采にお吉の氣象なき廻し下されませ』

と言つて侍の影に畏つたちだつたらうか、などと咄嗟の間に思つた、男といふ者に對して何の經驗も持たぬ身の素より戀だの惚れたの判斷するのであつた。

大鹽の屋敷は京橋河岸かげた、恰ど格之助が此方へ御代官屋敷前より天滿橋向き直つてゐたのでよく人柄を見ることが出來た。

『今業平』と云ふ言葉は當のといふ名の風上にもおけぬ東照宮の橫を藤堂屋敷前へ出て鈴鹿町から左へ曲る與力町の角にあつた。

成程、傭人は少い、侍一人、仲間二人、飯炊女が一人、他に食客扶帶の門弟が一人、伯母さんと玄關を塞した優男——病的のにやけ

お蘭陀お蝶

渡邊默禪作

(58)

お吉が戀人の格之助には ついぞ逢つたことがない、その年格好も相貌も氣立ても更に知らぬ、行く途すがら想像して見た、大分大鹽得仰せつけられませ』

と言ひ入ると後向きになつて書籍を讀んでゐた人が

『おゝ左樣か、よくぞ參つた』

と優しく會釋をする

『萬事不馴れの不束者でございます、何分宜敷くお引

お柳は此の時始めて顏を擡げた、恰ど格之助が此方へ御代官屋敷前より天滿橋向き直つてゐたのでよく人柄を見ることが出來た。

『今業平』と云ふ言葉は當のといふ名の風上にもおけぬ東照宮の橫を藤堂屋敷前へ出て鈴鹿町から左へ曲る與力町の角にあつた。

成程、傭人は少い、侍一人、仲間二人、飯炊女が一人、他に食客扶帶の門弟が一人、伯母さんと玄關を塞した優男——病的のにやけ

社會の今日

○

若葉洩る日筋のをどる泉かな　寒山

鴉の聲杉をきけば我が舟のうねりに浮巢定めなきかも　近藤誠作

拈華微笑

磐中退學者

◇

借り手が思惑的に返濟延期。組合が助からぬ

◇

之丈は赤字にしたい貧から來る

◇

今年の郡下壯丁は各商店の飾窓に漸く夏氣分漂ふ

◇

背がヒョロついた反對に學力が

◇

縮まつたらしい

◇

今年の郡下壯丁は各商店の飾窓に漸く夏氣分漂ふ

用子樣御
防水マント

御子樣方の御通學に是非必要な防水マントを種々取揃へました。

◆ ゴム引……0.85
◆ 中ゴム……1.30
◆ 同(女兒用)…1.40

通學服も種々取揃へて御座います。

おかや洋服店 平 三 電203

優等賞入選

芳醇銘酒

ハクバノユキ

去る十八日より二十日迄平稅務署に於て開催されたる石城酒造組合主催第十三回清酒唎酒會に於て三點とも最優等賞を得たり

平町二丁目一一
白馬の雪營業所
辰の口本家 松本德一
電話(五四六)二八五 本營業所 店

平町田町(電話五一三番)
高久病院
醫學士 高久忠羽
新潟醫學士 赤濟
藥劑士 佐竹菊雄

內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

耳鼻、咽喉科、一般外科、花柳病科
(入院隨意)
平町南町(元眞木辯護士跡)
專門 增田耳鼻咽喉科醫院
電話 四八二番
(入院隨意)

內臟外科一般外科、花柳病科
(入院隨意)
平町六丁目(橋際)
木村外科醫院
電話三〇九

貴金銀 高價買入舛
貴金屬
平町田町丸新デパート
假營業所
根本時計店

吉田眼科病院
平町紺屋町

松前家傳 靈效散 無效返金
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致ました。今迄のは福島市で製藥したので兎角の批評ありましたが今度のものは眞正のもので奏効確なものです服用しなくては其の眞價が判りませんから皆樣へ見本を差上ます。御遠慮なくいらして下さい！。見本品でも二日間飮まれますから輕い病氣なら治つてしまひます。小兒用の靈效散も出來ました。胃腸病に苦しむ方、腦病、心臟病、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致ます。
定價……試用分八日分五十錢 輕症用廿日分壹圓 重症用四十五日分貳圓
靈效散 賣賑部 地方代理店 阿康藥舖
平町古館治町(縣社の下)
(電話四四番)

胃腸病の藥の王座を占むる純漢法藥
相馬屋
四丁目川岸通り(電話二六一番)
右之通り特に勉强致し上品用ひ仕出候間御試食の程御願申上候
此他ヒラキうなぎ (百匁四十錢 三十錢)

うなぎ丼 二十五錢
大蒲燒 四十錢
やな川十五錢

夜診
胃腸專門
淋病 梅毒 婦人病
內科 十二指腸病 專門
內科 外科
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇七番)
晝間診療

別府溫泉デ名高イ岩里家ノ家傳秘藥
烈シキ痛ミ、血ウミ、コシケ止ル事妙ナリ
爆彈的百パーセントの效果
岩里別府淋藥
黑箱—金參圓 赤箱—金五圓
無效返金藥 (二日內服效無キ時ハ殘藥引替ニ卽時返金ス)
百藥盡キテ最後ニ服ム可シ
責任卽效秘ヤク
岩里別府梅毒丸
金貳圓 金參圓 金五圓
效目的確の高貴やく
別府皮膚藥 金三十錢 金五十錢
別府溫泉特有湯ノ華製劑ニテ皮膚病最高の權威藥
發賣製藥元 別府市鶴外園 岩里天然堂
平町三丁目銀行橫町
代理店 渡邊いと

ラヂオ

…十八日…(土曜)…

仙臺 JOHK

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇料理獻立(シャムクッキース) 小野やす子
日用品價段
△一〇、三〇A 家庭講座(精神衛生學上より觀たる性癖) ドクトルオブフイロソフイ 實生すぎ
△正午A 時報
△後〇、〇五B 吹奏樂 大阪音樂隊
△〇、四〇A ニュース 氣象
△二、〇〇F 家庭講座(箏曲) 實演解說…宮城道雄唄…牧瀨敏江
△三、〇〇 五、〇〇 競馬中繼(社團法人福島競馬クラブ主催…春季競馬會狀況) 福島市競馬場より中繼
△三、四〇A 氣象…並經濟市況は競馬放送終了後に繰下げ放送す
△四、〇〇A ニュース…競馬放送を中斷して放送す
△六、〇〇A 趣味講演(傳書鳩飼ひ方) 松本豊
△六、二〇A コドモの新聞 松內則三
△六、二五A カレント、トピックス ハロルド、バーマー
△六、三〇A 英語講座(中等科) 久野朔郎
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇J 講演(上海事變に關して全國の皆樣へ！) 第九師團長陸軍中將 植田謙吉
(子供の夕)
△八、〇〇B 唱歌劇(戰爭ごつこ) BK コドモサークル
△八、三〇A 放送映畫劇(戰爭と少年) 原作…赤穗春雄
△九、〇〇B ヴアイオリンピアノ二重奏 アレキサンダーモギレフスキー レオ、シロタ
△九、三〇A 時報 ニュース 氣象 生繭相場

〔第三種郵便物認可〕　昭和七年六月十八日　磐城新聞　〔土曜日〕　第三千四百五十六號　〔二〕

國語算術公民科共に壯丁の約半數は落第點

平町は辛じて平均を突破

本年度學力試驗成績内容

石城郡下の本年度壯丁二千百八十二名に對する學力調査の結果は大体昨報の通りであるが各科得點の内容は

△國語受驗者千九百五十四名（中學卒業以上を除く）零點百三十二名（六分八厘）五點以下六百八十名（三割五分）六點以上十點迄千二百七十四名（六割五分）平均六點四分八厘　平町七點四厘

△算術。受驗者同上　零點二百六名（一割六厘）五點以下九百十二名（四割七分）六點以上十點千三十八名（五割三分）平均五點三分四厘、平町五點四分五厘

△公民科。受驗者二千六十六名（中卒以上も課す）零點四百二十四名（一割九分九厘、五點以下千百四十七名（五割三分）六點以上千十三名（四割七分）平均四點七分一厘、平町五點三分一厘

尚ほ内譯次の如くである

二百九十一名である

實業	二一一	未定	六七
商業	一一二	軍人	九八
工五四		師範	二部
師各五一		鐵道官吏	四一
陸軍々人	四四	醫事	三二
教育家	三〇	商師	二七
兵學校	海軍々人	二五	
上級學校	二三	大學	二一
士官學校	二〇	官吏	一九
高商	一八	教員、農業各	一七
大學豫科	一六	高戰	一二
農	一二	政治家	七
土木	諸員	外語學校	飛行學校各六
藥專	理學者	平町各小學校	藥劑士
大學專門部	美術學校各五	外交官	小學教員
中等教員	高等商船陸軍士官候補生各四	海外發展	渡滿
專門學校	航空兵各三	新聞記者	小説家
宗教家	裁判官	巡査	水産講習所
逓信官吏練習所	鐵道同盟鐵山技師	鐵道學校	體操學校
高等園藝各二	僧侶	日支親善事業	寫眞業
染物業	大工	商人	會社員
船員	測候技術家	鑛業教習所	藝術家
畫家	養鷄家	建築技師	工學士
學者	理學博士	齒科醫專	東亞同文書院
機關學校	飛行家	北大實科	高等工藝
音樂學校	臨教	農業教員養成所	高等教員
青山學院	武專學校	獸醫學校	電機學校
物理	寫眞	拓大各一	合計一七七一

各組合は焦る！

思惑的の返濟懈意に

機能が止るやうな窮況

郡下二十二（組合員三百四國的經濟不安から思惑的な十三名）の産業組合では拂返濟回避者が尠くなく目下込濟出資金及借入金、貯金の處組合の機能を發揮する高合計百三十五萬二千圓（一組合平均六萬七千五百圓）を組合員に融通してゐるも鋭意之が整理に努めつつあるが打續く不況に因る返濟財界安定の一日も速かなら能力の減退に加へ昨今の金ん事を要望してゐる

退學生の續出を憂ふる磐城中學

振はぬ磐中の篤志會

磐中では腰報の如く家計困難に因る退學者の續出に幾歩々々しからず來月からの支分にても之を救濟防止すべく給も困難なる模様で一學期末迄には二十名位の退學者を出すではないかと憂慮さるが今學期に入り既に十五名の退學者を出してゐる

鐵北に無集配局

七百名の調印を纏め實現運動を開始

平町鐵北方部でに特定三等印をもつて主務省に陳情す無集配局の設置を要望し有る事になり目下第十七區の志閒に於て寄々協議中であつたが愈々實現を期すべく方部關係區民六百餘名の調印を纏め田邊吉四郎氏等が奔走中である

江名忠魂碑　在鄕軍人分會で工費三百圓を投じ同町小學校庭に建設する事となつた

磐中生志望

最多は軍人方面

磐中では此程卒業後に於ける志望を調査したが軍人方面が最も多く次ぎが實業の二百十一名である

實業二一一、未定六七、高校一一二、軍人九八、高工五四、師範二部、醫師各五一、鐵道官吏四一、陸軍々人四四、醫事三二、教育家三〇、高師二七、兵學校、海軍々人二五、上級學校二三、大學二一、士官學校二〇、官吏一九、高商一八、教員、農業各一七、大學豫科一六、高戰を期待されてゐる一二、政治家七、土木諸員、外語學校、飛行學校各六、藥專、理學者、平町各小學校、藥劑士、大學專門部、美術學校各五、外交官、小學教員、中等教員、高等商船陸軍士官候補生各四、海外發展、渡滿、專門學校、航空兵各三、新聞記者、小説家、宗教家、裁判官、巡査、水産講習所、逓信官吏練習所、鐵道同盟鐵山技師、鐵道學校、體操學校、高等園藝各二、僧侶、日支親善事業、寫眞業、商船陸軍士官候補生各四、海外發展、渡滿、專門學校、航空兵各三、新聞記者、小説家、宗教家、裁判官、巡査、水産講習所、逓信官吏練習所、鐵道同盟鐵山技師、鐵道學校、體操學校、高等園藝各二、僧侶、日支親善事業、寫眞業、拓大各一、合計一七七一

讀書界にも暗い影

不況はここに反映するが

「依然王座を占むる子供もの」

不況の深刻化は最近平町の局に閲讀書界にも多大の影響を及關心が稀薄なる關係からかし賣上は昨年より二割乃至賣行きが極めて悪いと三割方の減退を示して居るが昨今に於ける斯界の傾向は賣行の良いのはどうしても餘裕生活者の子供が耽讀するが少年、少女もので婦人戰ものが此れに次ぎ相當な數に上つて居る、時節柄堅苦種競技しい書物は比較的賣行きが箱崎遠平主將を初め猛練習悪く遊覽避暑地などの案内中であるが八百箱崎蓮平、棒高飛白土玉之輔、二百金成令宣等の一流選手あり善

磐中健兒双葉行

双、相と技を競ふ

磐中競技部は縣大會の前哨戦として二十六日双葉中學に開かれる双、相中學の各種競技會に參加すべく目下箱崎遠平主將を初め猛練習中であるが八百箱崎蓮平、棒高飛白土玉之輔、二百金成令宣等の一流選手あり善

磐中生中習演外野

磐中三年生二百餘名は今十七日八谷配屬將校其他指揮の下に赤井、好閒兩村附近で野外演習を行ひ飯盒炊事をなしたと

神谷諫岸陳情　神谷を陳情した

打水涼しい夜の街頭飾窓に漂ふ夏の魅惑

今年の流行品いろ〳〵

鬱陶しい之の梅雨が晴ると直ぐに眞夏の世界が展開する。機を見るに敏な平町の各商店では早くも夏物の陳列を始め各ウキンドーとも負けず劣らすの夏氣分を漂はせ始めたが今年の流行型は値段はどんなものか

▽子供服瀟洒なモダン型色合はブリュー、女物簡單服八九錢—七八十錢同富士絹一圓—五圓男物二十錢—一圓二三十錢、富士絹一圓—一圓五十錢、富士絹一圓—五圓昨年より一割—三割安▽大人服、シルクポーラの上下大体薄色の涼味本位。奇抜な花柳界染みたもので三割安△パラソル、一圓—八九圓、骨十四間の銀鼠又はコバルト・オレンジ。三割安▽浴衣地中形木綿一圓—一圓五十錢、ギエル一圓五十錢内外、銘仙三圓五十錢—五圓、紺小紋錦紗六七圓—十圓等を召喚取調中であつて居るうち何時の間にか同人と賞會は明十八日四倉座、二十日湯本座に於て何れも午後六時から開催すると

平水道委員會

今十七日午後一時から上水道擴張工事の殘務整理竣功式の期日並に竣功賞與支給に關する諸件を附議した

平町舊城跡丹後澤

平町舊城跡丹後澤の養魚所では十九、廿の兩日午前四時から午後六時迄鯉釣大會を催すが會費は初日五十錢二日目三十錢であると

磐中卒業生、磐中では各分布圖作製一般の參考に資すべく目中卒業生の分布

簡閲點呼

今年度福島聯隊區簡閲點呼執行日割は此程決定したが本郡關係左の如し

第三區

執行官歩兵少佐本多乙彦

附屬下士官歩兵軍曹森勇記

八月—四日四倉校（四倉大浦、大野、草野）

第四區

執行官歩兵小佐山本二郎

附屬下士官歩兵曹長遠藤久次

△八月—四日植田校（植田、泉、渡邊、山田、勿來校（錦）七日入遠野校十七日（入遠野、上遠野）八日磐崎校（磐崎、湯本）九日小

四倉を檢分

磐女の水泳場選定

磐城高女では今夏中の水泳講習に關し此程江名、小名浜、豊間各海岸の下檢分をなしたが幾分理想的でない點があるので近く四倉に出張調査すると

戀の放火實地檢證

藤原判事綴へ

愛人に裏切られた恨から隣家を燒かんとした内郷村高坂齋藤ウメ（二八）假名—に係る放火事件の實地檢證は今十七日午後一時から藤原判事に依つて行はれた

木會便乘志願

僅か十六名に許可

今十七日縣から町役場へ通知

平町役場へ申し出た百四十村大字鹽地内夏井川護岸延長二百間の災害復舊工事は工費三千圓を以て今月初め着工近く竣功する運に至つたが更に該工事と相呼應し附近を通行中突然松蔭から現れ出でた怪漢の中一名は素早く同女の墓口を强奪し他の一名は抱いて怪しき振をなしたところを取調べの結果右は東大經濟學部學生杉浦藤三郎（三）專修大學生佐々木秋生（三）と判明した

△女の腰卷泥棒　岡山市西中山下街路を女の寫眞を眺め乍ら悦に入りつつ通行中の少年岡山市難波町五〇石井光二（一八）を東山署員が取調べたところ懐中に美人の寫眞廿數枚と同町二四カフエーOKのコック見習ひ中同家女給連から盗んだ腰卷多數を持つてゐた

△駈落者やあい　岐阜縣安八郡三城村字澤渡某工場職工高田明治（三）同女工同郡平野村字白鳥兵藏長女高崎みつえ（一九）の兩人は豫ふが附近農村休暇中の小學教員多數の參觀あり頗る好成績を收めた明日も續行す

簡閲點呼

磐城高女では今夏中の水泳講習に關し此程江名、小名浜、豊間各海岸の下檢分をなしたが幾分理想的でない點があるので近く四倉に出張調査すると

簡閲點呼

今年度福島聯隊區簡閲點呼執行日割は此程決定したが本郡關係左の如し

第三區

執行官歩兵少佐本多乙彦

附屬下士官歩兵軍曹森勇記

八月—四日四倉校（四倉大浦、大野、草野）

第四區

執行官歩兵小佐山本二郎

附屬下士官歩兵曹長遠藤久次

△八月—四日植田校（植田、泉、渡邊、山田、勿來校（錦）七日入遠野校十七日（入遠野、上遠野）八日磐崎審判事に依つて行はれた

墮胎で無いと判明

義妹に子を産ませて

睨まれた機關庫助役

社會修身　四倉、湯本で開催

教育映畫

東京教育資料研究會のトーキー使用社會教育映畫大觀賞會は明十八日四倉座、二十日湯本座に於て何れも午後六時から開催すると

平町急施町會　今十七日午後二時から招集七年度特別會計（上水道擴張工事費）豫算追加、鹽業取締支所敷地無料貸付の件を協議した

拾つた話

脱線『海水浴漫談』

彼氏のタヒラ藝妓冒瀆

〇〇で

タヒラ

新鮮な空氣、新しい草花、女性はかうした新鮮なものに憧れる敏感さを有する、あの日さえる光の雫のやうな五彩の香氣は虹を帶び人魚は花屋敷のオットセイの如くおどる其の凄まじい勢ひ、およそ何ものの羈束がない裸身の人魚の群、銀箭の飛沫は萬が一にも見る人があつたとすれば其れは恐らく憧れの四倉海岸とは似ても似廢窩を一面に張りつけたの場があるかと思ふと上膊部にの光景に『餘程膽下丹田に何か針でも打つ刺した様な！。揚がる、揚がる、爽快力を入れてでもゐないと腦にかきわけられた飛沫、海貧血位はあぶないもんだよと思ふとだ、まあ以下次號水浴程フレッシュな氣分に……』とふだん惡慶事の研だ兎に角そう云ふのがステ滿ちたものは無い——。究に憂き身を窶してる彼氏ンドグラス越しにひるさがはヤ顏に語り出した。

×

——そのピチ〳〵とした人魚の跳躍を聯想し、タイル張りの浴槽をプールに見澄ました處を見ると三十分立てて、タヒラの聲の女湯六十七錢敢て惜くないね、悪く遊覽避暑地などの案内中であるが八百箱崎蓮平、棒高飛白土玉之輔、二百金成令宣等の一流選手あり善

×

おつくりをしてチャンと然として登爾たる圖つたらありやあしねえよ。

×

時節柄ついウカ〳〵と海水浴の話から脱線して飛んでも無いタヒラ藝者の冒瀆を敢てした彼氏であつた。

×

一瞬にして起る水煙、一躍して飛び込み全身を躍動させる人魚の群、銀箭の飛沫は虹を帶び人魚は花屋敷のオットセイの如くおどる其の凄まじい勢ひ、およそ何ものの羈束がない裸身の

懸賞

各地情痴

ニユース

△劇中劇の一幕　愛知縣

▲一白の人　儲けばなしを持ち込まるゝ應ずれば損失あり▲二黒の人　草木根を張りて益々枝葉の繁茂するが如し▲三碧の人　諸事急功を欲して短慮となり失敗を招く日▲四緑の人　共から共れと氣移りして一事も成らざる日▲五黄の人　身心を安定して妄りに動かされば過なき日▲六白の人　破竹の勢ひを以て萬事を遂成し得べき盛運日▲七赤の人　一家の喜びに滿足すべき日但多辯を戒しむ▲八白の人　兩雄並び立たず餘りに權威を振はざるが吉▲九紫の人　一事に熱中し他事を打ち捨て欠陥を生すべし

美味百パーセントのうなぎ料理

大蒲燒　一人前四十錢　二人前七十錢
うなぎ丼　細丼二十錢　並丼二十五錢　上丼三十五錢
外……◇親子丼拾五錢　◇柳川二十錢
……に
御客本意の勉强振り御試し下さい。
出前迅速!!
二丁目（佐野屋旅館隣）
日の出・うなぎ食堂
電話六〇九番

〇代理店新設

當地方に古き關係の深い而も業績のよい安心の出來る健實なる有隣生命保健株式會社の代理店を引受けました。何卒御利用の程を御願致します

有隣生命保險株式會社
平城北代理店　主幹
佐々木龍若
附屬社員
志賀寛

技術安心
本位
高橋時計店
平才　縄小路
時計修理
いさ下依頼御
恩給年金　簡易保險即時
無盡通帳　其他債券賣買
平町一丁目一四番地
鈴木重藏

廣告